



2025年3月期 第2四半期 決算説明会

サイバートラスト株式会社
東証グロース：4498
2024年10月30日

Agenda

- 2025年3月期 第2四半期業績概要
(サービス構成変更含む)
- サービス別概況
 - 認証・セキュリティサービス
 - プラットフォームサービス
- 2025年3月期 通期業績予想
- Appendix

2025年3月期
第2四半期業績

前年同期比二桁増収増益 過去最高売上高・営業利益
- 高成長牽引サービスが牽引し収益貢献

2025年3月期
通期業績予想

第2四半期から売上高、営業利益とも拡大し
通期業績予想達成に向けて順調に進捗

サービス構成変更

来期以降の成長も視野に市場環境・顧客ニーズに適した
サービス構成変更実施

- 2025年3月期 第2四半期業績概要
(サービス構成変更含む)
- サービス別概況
 - 認証・セキュリティサービス
 - プラットフォームサービス
- 2025年3月期 通期業績予想

前年同期比で二桁増収増益、過去最高の第2四半期売上高・営業利益

売上高前年同期比 11.8%増 **3,331** 百万円 営業利益前年同期比 27.8%増 **543** 百万円

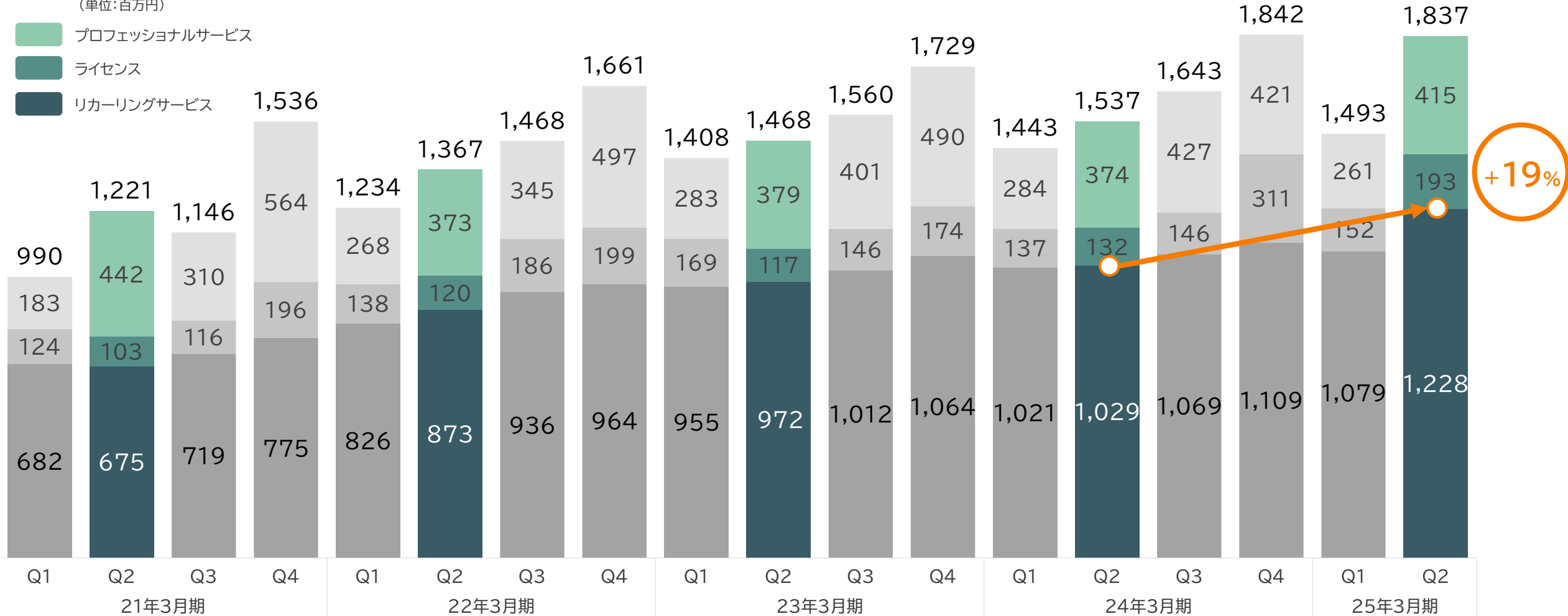
(単位:百万円)	2024年3月期 第2四半期(6か月累計)	2025年3月期 第2四半期(6か月累計)	前年同期比
売上高	2,981	3,331	+11.8%
営業利益	425	543	+27.8%
経常利益	426	556	+30.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	282	409	+45.1%
EBITDA	722	799	+10.7%

Q2リカーリング売上高 大幅伸長

高成長牽引
サービスが牽引

(単位:百万円)

- プロフェッショナルサービス
- ライセンス
- リカーリングサービス

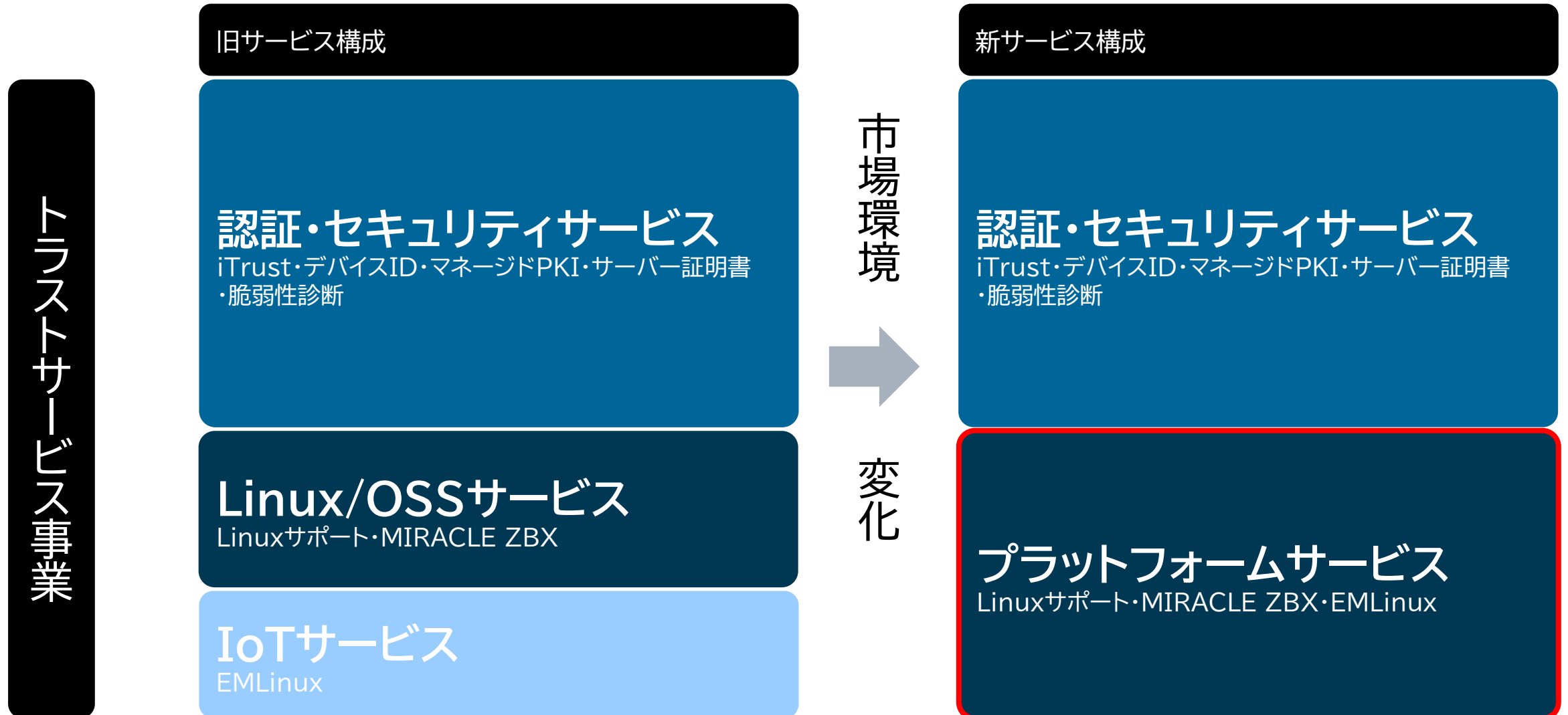


季節変動性：Q4はサーバー証明書など契約金額を一括計上する取引が集中 Copyright Cybertrust Japan Co., Ltd. All rights reserved.

サービス構成変更について

■ サービス構成の変更について

DX進展に伴い顧客のトータルニーズへの提案力を強化し、さらなる事業成長を目指す
 従来のLinux/OSSサービスとIoTサービスをプラットフォームサービスとして統合



サービス別 売上高実績(6か月累計)

- 認証・セキュリティ 高成長牽引サービス iTrust伸長しリカーリングが積み上がり増収
- プラットフォーム CentOS7延長サポートが本格収益化し大幅増収、EMLinuxサポート伸長

(単位:百万円)	2024年3月期 第2四半期(6か月累計)		2025年3月期 第2四半期(6か月累計)		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
認証・セキュリティ サービス	1,844	61.9%	1,865	56.0%	20	+1.1%
プラットフォーム サービス	1,136	38.1%	1,466	44.0%	329	+29.0%
売上高合計	2,981	100%	3,331	100%	350	+11.8%

- 2025年3月期 第2四半期業績概要
(サービス構成変更含む)
- サービス別概況
 - 認証・セキュリティサービス
 - プラットフォームサービス
- 2025年3月期 通期業績予想

高成長牽引サービスiTrust成長しリカーリング伸長

(単位：百万円)

認証・セキュリティサービス 売上高 (取引形態別)	24年3月期 2四半期 (6か月累計)	25年3月期 第2四半期 (6か月累計)	前年同期比
リカーリングサービス (リカーリング比率)	1,538 (83.4%)	1,598 (85.7%)	+3.9% (2.3ポイント)
ライセンス	97	75	△23.1%
プロフェッショナルサービス	208	191	△8.1%
売上高合計	1,844	1,865	+1.1%

リカーリング比率85.7% (前年同期比+2.3pt)

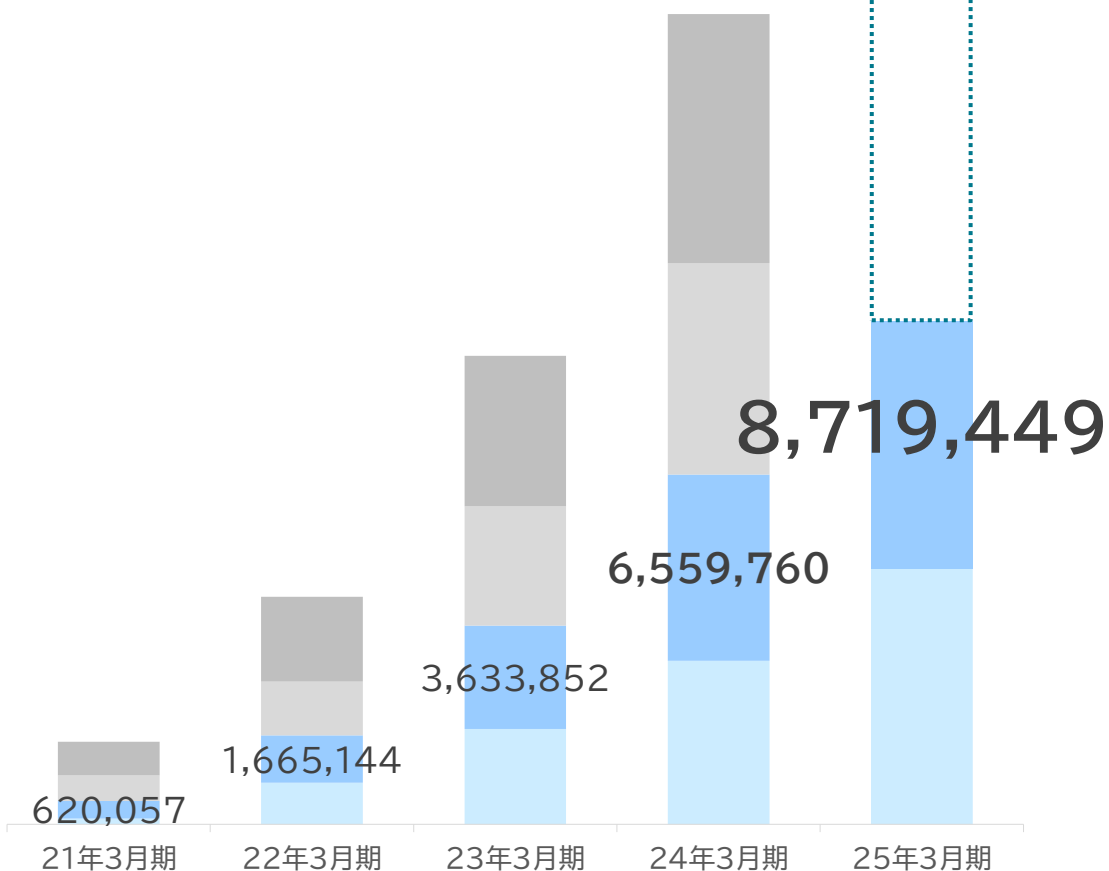
- 高成長牽引サービスのiTrustは、金融機関向けeKYCサービスや電子契約サービスで伸長し前年同期比26.2%増
(前年同期比34.1%増:前年同期の一過性要因※除外の場合)
- デバイスIDは、企業向けのクラウド認証サービス伸長
- SureServerは顧客契約形態変更の影響等で減収
- 収益基盤の強化に向け、高成長牽引サービスを中心にリカーリングサービスに注力した結果、取引形態別売上構成比が想定通り進捗

※24年3月期Q2及びQ3に特定の自治体の給付金申請に伴うマイナンバーカードを用いた本人確認の一過性のトランザクション増加要因

iTrustのトランザクション数(有償API利用件数)伸長

(単位:回)

■ Q1 ■ Q2 ■ Q3 ■ Q4



利用件数 **871万件**/四半期

前年同期比 **1.3倍**

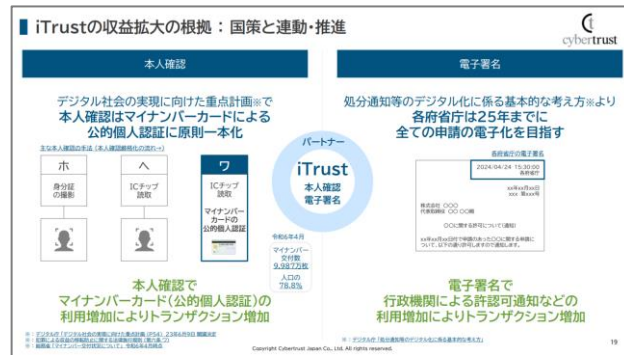
圧倒的実績を有するトラストサービス

※ 2024年9月末時点自社調べ

iTrust(本人確認)の利用範囲の拡大に向けた取り組み

本人確認のニーズ拡大

様々な手続きのデジタル化が進む中で
法整備が進み
本人確認をデジタル化するニーズが拡大



※：(参考)2024/4/24「2024年3月期 決算説明資料」抜粋(P19)

これまでの継続的な当社取り組みが
市場動向や顧客ニーズと適合し
着実にトランザクション増加

採用事例

本人確認のデジタル化・厳格化が進む
金融機関や通信会社が採用



金融業や通信業を中心に
オンライン/対面での利用場面拡大で
トランザクション増加

※：(J-LIS)失効情報を提供している民間事業者について

- 2025年3月期 第2四半期業績概要
(サービス構成変更含む)
- サービス別概況
 - 認証・セキュリティサービス
 - プラットフォームサービス
- 2025年3月期 通期業績予想

CentOS延長サポート7月より本格収益化 想定を上回り進捗

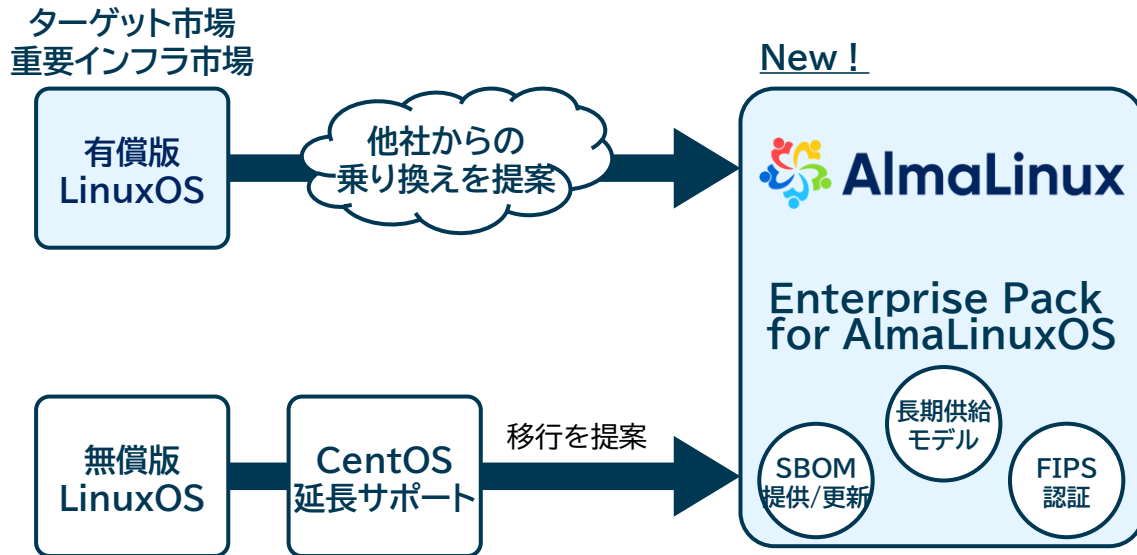
(単位：百万円)

プラットフォームサービス 売上高 (取引形態別)	24年3月期 2四半期 (6か月累計)	25年3月期 第2四半期 (6か月累計)	前年同期比
リカーリングサービス	512	708	+38.4%
ライセンス	172	271	+57.2%
プロフェッショナルサービス	451	485	+7.6%
売上高合計	1,136	1,466	+29.0%

- CentOS延長サポートは6月コミュニティサポート終了に伴い、期初想定通り7月より本格収益化
これまでのパートナーネットワーク強化の取組み奏功し
期初想定を上回りリカーリング大幅伸長
 - 第2四半期サポート契約数は第1四半期比3倍(新規案件が7割)
 - 第2四半期も新規案件獲得し、受注額6億円超え
- CloudLinux社と連携して提供したCentOS延長サポートなどによりライセンス大幅伸長
- 次の成長に向けCentOS延長サポートの顧客に対してAlmaLinuxなどのクロスセル提案開始
- EMLinuxサポートは重要インフラ15分野・自動車を中心に採用拡大し倍増

AlmaLinuxの利用範囲の拡大に向けた取り組み

重要インフラ市場での顧客層拡大



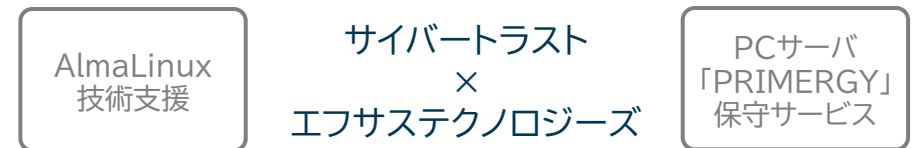
有償版LinuxOSを利用中の
重要インフラ事業者に向け
乗り換え先として新サービスを提案

PR：サイバートラスト、AlmaLinuxにSBOM対応の独自機能を追加した「Enterprise Pack for AlmaLinux」を提供開始

エフサステクノロジーズとの協業

エフサステクノロジーズ社が
PCサーバーの標準OSとしてAlmaLinuxを採用
AlmaLinux長期サポートを提供

ワンストップサポート提供 ~ハードウェアからソフトウェアまで~



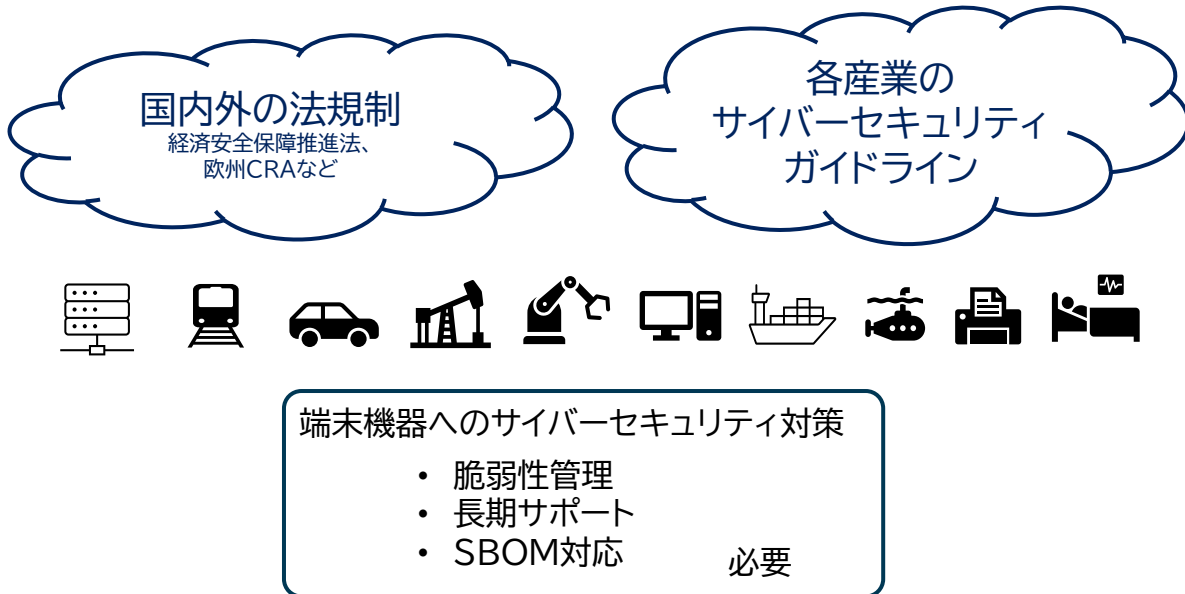
社会基盤システムや金融機関など
長期運用が必要な企業からの
長期サポート契約が拡大

PR：エフサステクノロジーズとサイバートラスト、AlmaLinuxを利用したシステムの長期運用の実現に向け協業を開始

EMLinuxの利用範囲の拡大に向けた取り組み

国際安全基準に関わる基準・法規制への対応

脆弱性管理、長期サポートが求められる機器での
新規採用・既存顧客の横展開



これまでの継続的な当社取り組みが
市場動向や顧客ニーズと適合し
着実に採用数が増加

注力施策

重要インフラ関連機器、産業制御機器、
モビリティ関連※を中心に
収益拡大に向けて集中的に施策を展開

1. セキュリティサービスの強化

EMLinux採用につながる SBOMコンサルや
脆弱性調査など新たなセキュリティサービスを提供

2. 顧客サプライチェーンへの展開

既存顧客の他事業部に対し横展開
半導体メーカー等のパートナーと連携し共同セミナー開催
サプライチェーン企業に向けて販売拡大

2つの注力施策を
集中的に展開し収益化加速

※ 自動車に加え農建機、その他搬送機など自動化が進む移動車全般

- 2025年3月期 第2四半期業績概要
(サービス構成変更含む)
- サービス別概況
 - 認証・セキュリティサービス
 - プラットフォームサービス
- **2025年3月期 通期業績予想**

第2四半期から売上高、営業利益とも拡大し
通期業績予想達成に向けて順調に進捗

単位:百万円	24年3月期	25年3月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	6,466	7,200	+733	+11.3%
営業利益	1,112	1,300	+187	+16.9%
営業利益率(%)	17.2	18.1	—	—
経常利益	1,121	1,300	+178	+15.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	518	860	+341	+65.8%
EBITDA	1,716	2,039	+323	+18.8%

2025年3月期の期初配当予想は、安定配当を継続 1株当たり 17円50銭 を予想

配当 政策

中長期的な企業価値の向上を目指した成長投資を積極的に行いつつも、中長期的視点で事業拡大を図る方針に対して株主の理解を深めていただくため、期末配当として年1回の剰余金の配当を安定的かつ継続的に実施していくことを基本方針とします。

	中間配当	期末配当
2024年3月期実績		17円50銭
2025年3月期予想	0円00銭	17円50銭

- Q1 Linux/OSSサービスは、CentOS延長サポートが好調のためLinux/OSSサービスの通期売上高は予想を上回る水準と思われるが、通期の全体業績の予想に変更はないのでしょうか？
- Q2 期中でサービス構成変更を行う理由について教えてください。

質疑応答

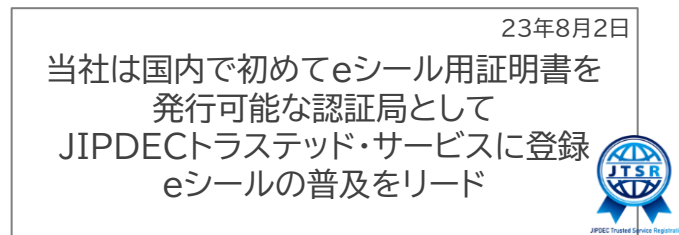


すべてのヒト、モノ、コトに信頼を

iTrust(eシール)の利用範囲の拡大に向けた取り組み

eシールのニーズ高まる

「デジタル学修歴証明導入手引き」※で
文部科学省は学修歴を示す
紙の証書のデジタル化を推進



これまでの継続的な当社取り組みが
市場動向や顧客ニーズと適合し
トランザクション増加見込み

※：(文部科学省)デジタル学習歴証明導入手引き
PR：サイバートラスト、各種電子文書の安心・安全なデータ流通を実現する「iTrust eシール用証明書」を提供開始
当社Blog：文教市場におけるDX化のトレンド

文教市場での採用事例

「iTrust eシール用証明書」が
NTT西日本提供の「証明書発行サービス」に
おける証明書オンライン送付機能に採用



エンタープライズ市場に加え文教市場に
おいても eシールの利用範囲拡大で
トランザクション増加見込み

PR：サイバートラストの「iTrust eシール用証明書」が、NTT西日本の証明書発行サービスに採用